

インフラの 町医者

全8回の2
をどう育てるか

第9回建設トップランナーフォーラムより

町医者としての誇り忘れず

太田国交相



「新コンパクト+ネットワ
ーク」を旗印とした地域づ
くりを進めることが課題で
ある」と述べた。

また、「人口減少や高齢
化が進む中で、都市間の競
争が厳しくなる」との見方
を示し、「それぞれの街が個
性は持って発展しながら、
勝ち抜いていく必要があ
る」とした。その際には
「必ず都市間で温度差が生
じ、対流が生まれる。各都
市が連携を取りながら、
『新コンパクト+ネットワ
ーク』を進めることが課題で
ある」と述べた。

業界の重要課題である人
材確保については、「第一
は処遇改善。それには休日
なども含まれる。企業側の
観点としては、公共事業の
持続的・安定的な予算編成
が重要となっている」。さ
らに「私があれば造った
メンテナンスした」という

林芳正農林水産大臣は、
今回のテーマ「インフラの
町医者をどう育てるか」に
ついて、「うまいタイトルを
付けるなど感心している。
一般の人にも『ストン』と
落ちるテーマだと述べた。
また、当日行われた森林



林農水相

一番身近な建設業に期待

ことが求められている。売
れるモノを経営感覚で作
るためには、一番身近にい
る建設業が農業と一緒に取
組むことが非常に大事にな
る」とした。

最後に、「地域の皆さん
が町医者として、農林水産
業がすぐ近くと育つように
していただければと思う。
これを契機にさらなる地域
への貢献と農林水産業への
支援をお願いしたい」と呼
び掛けた。

また、当日行われた森林



古屋特命担当相

オールジャパンで展開

列島各地に大きな被害を
もたらした台風8号の影響
により、予定していた訪米
を急ぎよ取りやめて駆け付
けたのは古屋圭司内閣府特
命担当大臣。

「国土強靱化基本法や政
策大綱はバイブルのような
もの。ことし6月に策定し
ていく」との考えを示した。
参加者に向けては、「皆
さんが健全に発展すること
が、日本を元気にする。国も
害に加えて原発災害もあ



原田復興庁事務次官

基本は住まいの再建

「一言で東日本震災と
いっても、それぞれの地域
によって被害の様相は異な
る」と述べ、「基本はやはり住ま
いの再建」とし、集中復興期
間の5年間で残された14・
15年度に、地方公共団体や
住民と一緒に復興に
取り組む決意を示した。
(地方建設専門紙の会)

ど、いまだに復旧・復興の
前段階に過ぎない。一方、
岩手県・宮城県は「一応の
仕組みが整い、本格的な復
興の緒に就いた段階」と現
状を説明した。

今後の地方での展開につ
いては「都道府県知事のリ
ーダーシップが非常に重要
になる」と述べ、「地域を
説得しつつ、優先順位を付
け、強靱(きょうじん)化

た。

防炎、国土強靱化という側
面から応援すると述べた。